

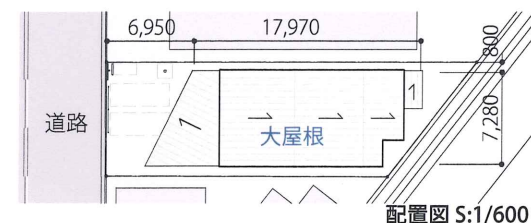
大きくつながる、自治会館

地域の様々な集まりの場として、また災害時の避難場所として、建物や敷地全体を大きく使ったり、小さく仕切って使うことのできる、柔軟で居心地のよい自治会館を提案します。

次の4つがこの提案の特徴です

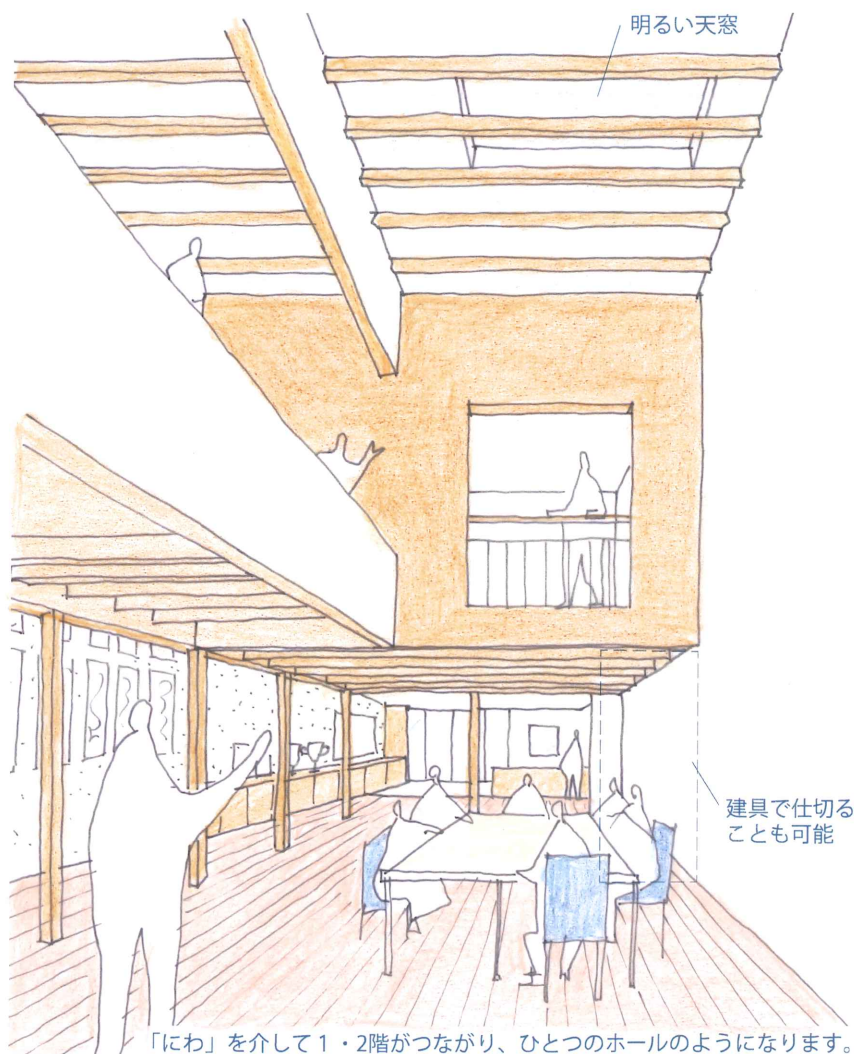
1 居場所をおおらかに覆う「大屋根」

緩やかな勾配の大屋根が室内を覆い、ひとまとまりの大きな空間を生み出します。



2 空間をタテにつなぐ「にわ」

建物中央に、天窓からの自然光がふりそそぐ「にわ」のような吹き抜けを設けます。敷地は3方を囲まれ、奥行もあり、暗くなりがちですが、「にわ」によって1階にも光が届く気持ちのいい居場所になります。また、上下階が立体的につながり、建物全体を大きくつかったイベントや、2階の事務室から大会議室に声掛けをするという上下階を横断したコミュニケーションが可能です。



「にわ」を介して1・2階がつながり、ひとつのホールようになります。

3 手前と奥をつなぐ「とおり」

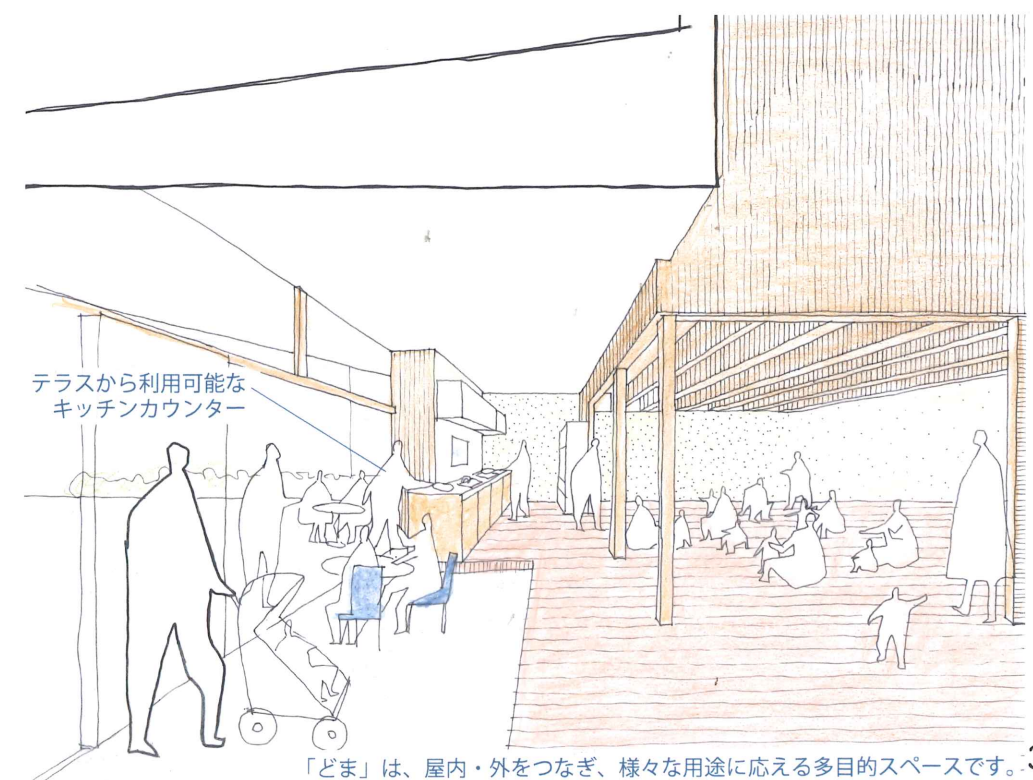
建物の手前と奥をつなぐ「とおり」は、見通しがよく、広さと開放感が感じられる空間です。突当たりの窓から自然光が差し込み明るいため、単なる通行のためだけの廊下ではなく、様々な展示やちょっとした休憩・おしゃべりスペースにもなる空間です。



「とおり」は、天井高さを利用した展示空間にもなります

4 建物とそとをつなぐ「どま」

玄関の広い「どま」は、屋外の軒下(ポーチ)と一体になる、のびのびとした居場所です。玄関引き戸を開けて、室内と屋外を一体的に広々と使った、イベントなども可能です。「どま」は多目的な空間でもあり、ベビーカーの一時置き場、横にあるキッチンのお茶コーナー、大会議室の一部、災害時の受付や炊き出しコーナーにもなります。



「どま」は、屋内・外をつなぎ、様々な用途に応える多目的スペースです。3

天窓からの光が降りそそぐ

1、2階の会議室に直接声が届く

2階に居ながら、1階のイベントに参加できる

「にわ」(明るい吹き抜け)を介して空間が上下につながる

数人で一緒に調理を楽しめるキッチン

大きな空間を生み出す大屋根

■ 永く地域を支える建物として

耐震性能

品確法の耐震等級 3（：最高等級＝建築基準法規格の 1.5 倍）の耐力を確保し、災害時の確実な避難所になります。又、尺間寸法に沿った無理のない柱・梁配置等によりコストの合理化を図ります。

防音性能

隣家のある北・南面は窓を設けず、防音に配慮した外壁面（遮音等級 45～50 程）とします。カラオケ等の音が隣家で気にならないレベルを目指します。

維持管理性能

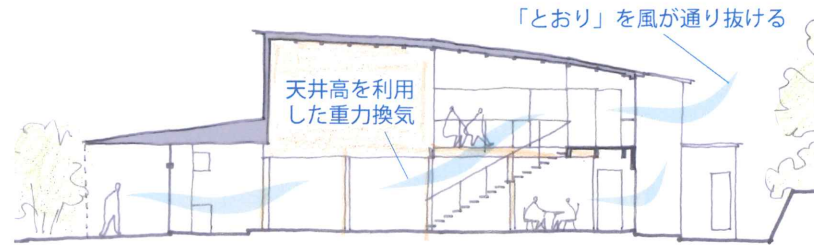
低コストでメンテナンス性のよい仕上材を使い、永く維持できるようにします。また、給排水配管の要所に点検口を設けるなど、品確法の維持管理等級 3（：最高レベル）同等の仕様にします。

バリアフリー性能

玄関周りの段差が小さく、階段もゆるやかで、廊下やドアの幅が広い、バリアフリーな建物です。ゆとりある土間玄関には、ベビーカーや外用車いすを置くことができます。

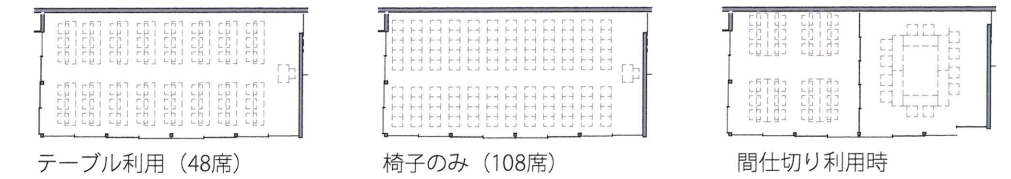
省エネ性能

品確法の断熱性能等級 4（最高：現行の省エネ基準相当）と同等の断熱性を確保します。「とおり」は風の通り道でもあり、天井高を利用した重力換気（温かい空気が上に流れるしくみ）と併せて、感染対策においても重要な効果的な換気が可能です。



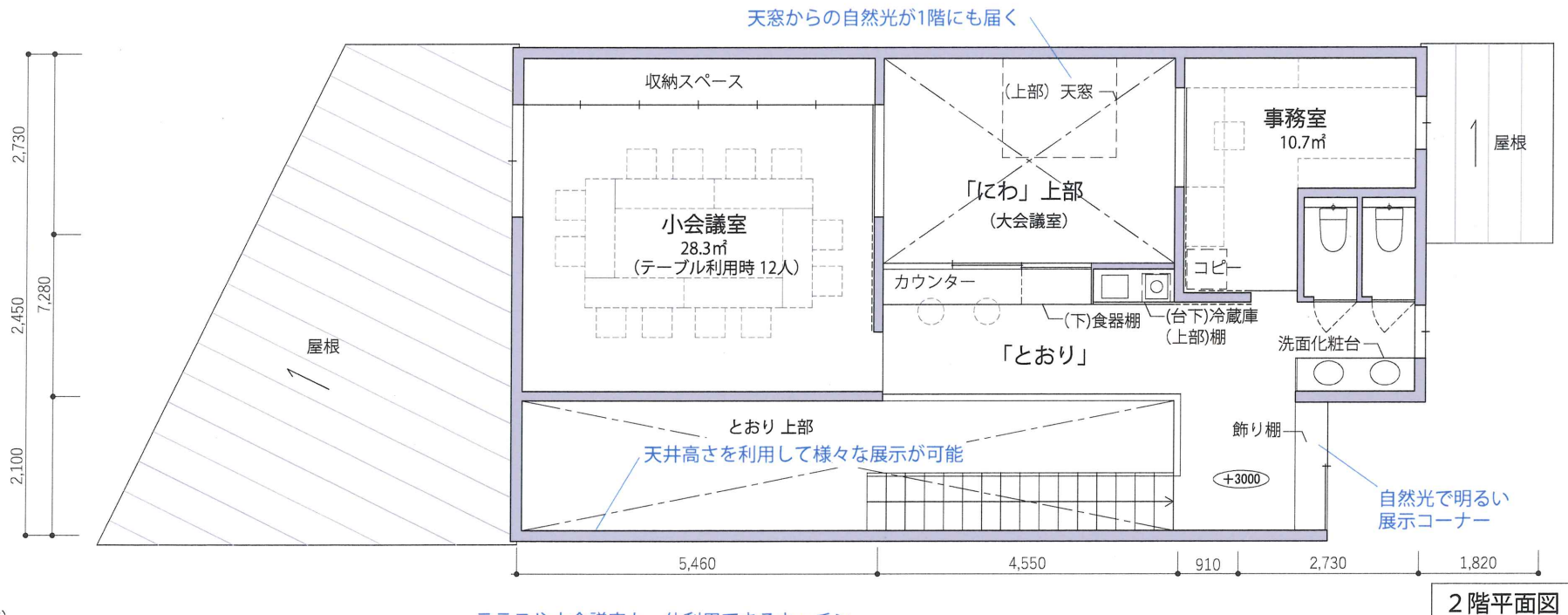
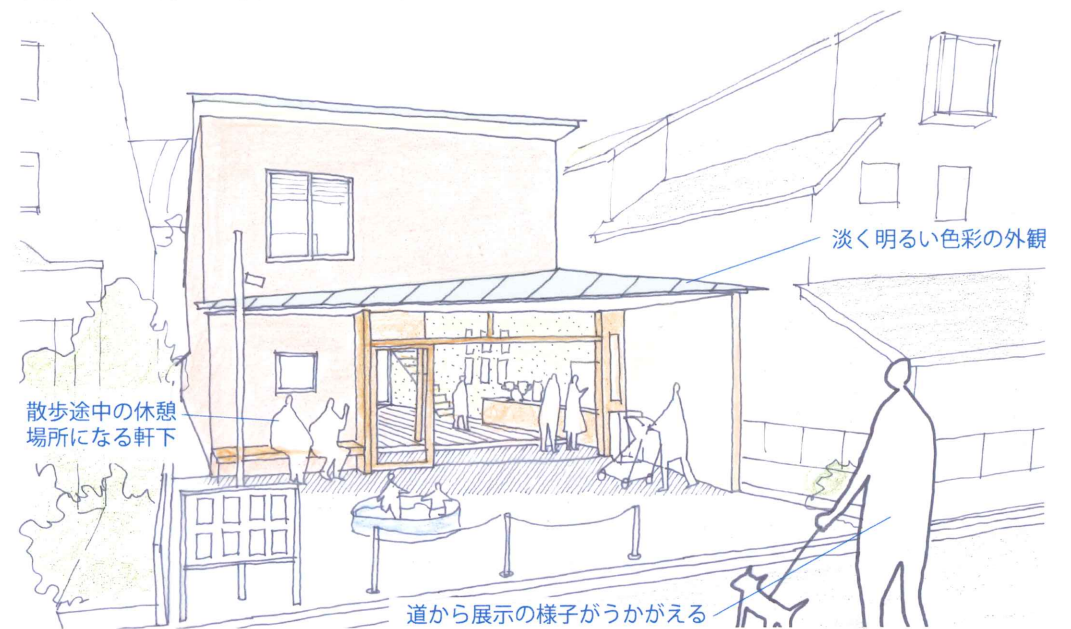
■ 様々な利用が可能な大会議室

大会議室は、間仕切り建具や家具の配置により、様々な利用に対応できます。「とおり」やテラスとも一体に使うことができ、会員 150 名が一堂に会することも可能です。

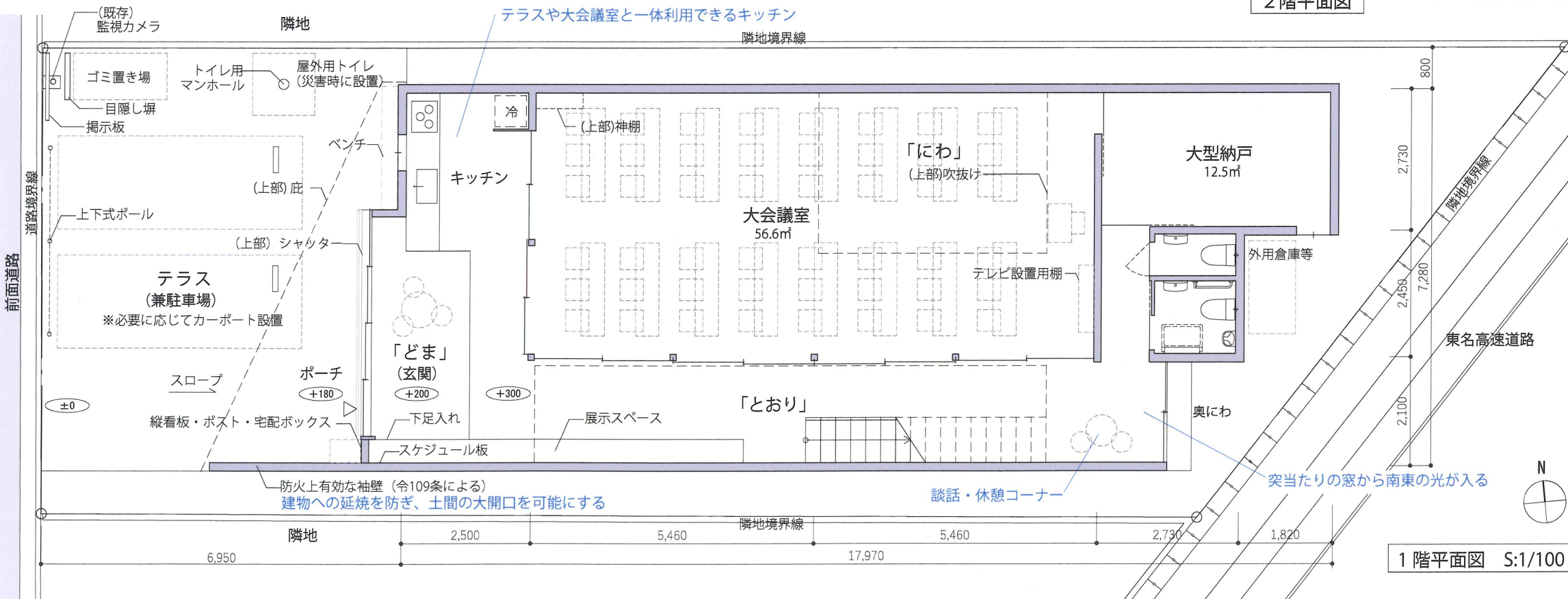


■ 地域に愛される自治会館として

『くじら』の背中のような勾配の大屋根と、三角形の突き出た庇が特徴的な建物です。大きめの軒下は、公園のあずま屋のようなちょっとした休憩場所になる、親しみやすい居場所です。また、通り掛けに「とおり」での展示や「どま」での様子が垣間見え、出会いや発見のきっかけになります。災害時には、雨のかからない軒下が炊き出しや災害トイレ待ちに役に立ちます。



2 階平面図



1 階平面図 S:1/100

建築概要

敷地面積 : 約 233.32 m²
 建築面積 : 126.42 m²
 1 階床面積 : 122.24 m²
 2 階床面積 : 63.50 m²
 延床面積 : 185.74 m²
 建蔽率 : 54.18% < 60%
 容積率 : 79.61% < 200%
 構造規模 木造 2 階建て

主な仕上げ材

屋根: ガルバリウム鋼板
 外壁: サイディング
 開口部: アルミ樹脂複合サッシ・木製建具（ペアガラス・飛散防止）
 内部 1 階床: フローリング
 2 階床: 塩ビシート
 壁: ビニルクロス貼
 天井: ビニルクロス貼
 一部木架構を現し

主な設備

都市ガス・ヒートポンプエアコン・扇風機・換気扇・LED 照明・弱電配管・防犯カメラ（既存利用）・インターホン・館内放送設備（必要に応じて）

事業費

既存建物解体費 : 200 万円
 本体工事費 : 3300 万円
 設備工事費 : 440 万円
 外構工事費 : 100 万円
 地盤調査費 : 5 万円
 電気・ガス・水道の敷設概算費用 : 15 万円
 測量費 : 40 万円
 設計監理費 : 450 万円
 消費税（10%）: 450 万円
 総事業費 : 5,000 万円